

ベトナムの大きな魅力のひとつに「通り」がある。ベトナムの「通り」は移動する場というだけでなく、人々の生活の現場である。時に市場となり、時に食堂、カフェとなり、友、知人、その場で初めて会った人達と語り合う空間となる。天秤棒や自転車、ナス、くず芋、コルラビなどの野菜やパイ、タバコ、ガソリン、ジャックフルーツなどの果物を売り歩く人、蓮の花を売る人、宝くじを売る人、段ボール紙を回収する人、移動式体重計を押す体重測定業の人、靴磨きの人、セーラム（バイクタクシー）のおじさん……。さまざまな人生が交錯する。

「通り」のネーミングも興味深い。数千年前から現代に至るベトナムの英雄、詩人、芸術家、歴史的イベント物などに拠って名付けられている。名称の由縁を少し学ぶだけでベトナムに対する理解を深めることができる。二〇一三年一〇月四日に逝去したヴォー・グエン・ザップ将軍（一九一〇〜二〇一三年）にちなんで「通り」も、将軍の故郷クアンビン省だけでなく、各地方で登場する模様である。

二〇一四年三月末まで一年間滞在したハノイ市ではリュウザイ通りにあるベトナム研究機関に通った。同通りはリー朝（二〇〇九〜二〇一五年）の下で開かれた旧リュウ（柳）通りに元々は所縁がある。旧リュウ通りには柳の木が植えられていたという。

午前の仕事を終えると、すぐ傍のドイ・カン通りによく昼食に出かけた。同通りの名称は植民地支配を続けるフランスに対して一九一七年に蜂起したドイ・カン（一九一八年）にちなんだものである。ドイ・カン通りには、食堂、移動式の飲食店が多数出ていた。ブーンチャー（肉もしくは平たい肉団子の炭火焼き・香草ともち米麺のつけ汁セット）、チャオ（スープ状に煮込んだおかゆ）、バインミー（フランスパンにベトナムハム、なます、キュウリ、コリアンダー、トウガラシなどを挟んだもの）など、様々な食を勤め人・労働者・学生らが楽しんでいた。同通りには郵便局もあったから、日本に提出物を送る必要がある筆者は、昼食時以外にも、凸凹もあり、バイクも停めてある同通りの歩道を、時に車道にはみ出しながら歩いた。

筆者がしばしば通った店は、バインミー、ソー

イ（おこわ）、バインバーオ（具材入り蒸し饅頭）などを売っていた。間口の幅は約二メートル、奥行きは四メートルぐらいで、店内に入れるのは五人ほどだった。持ち帰りのお客も多かった。内ひとつの座席では（店に向かって右側奥）、女主人の夫がよく昼食（朝食？）を食べていた。店内の左隔上部にテレビが設置されていたが、同じ左側に座っても無理に首を上げることなく、前の鏡に映る画像を眺めることができた。

バインミーチュン（バインミーに卵炒めを挟んだもの）とソーイゾー（おこわにベトナムハムをのせたもの）を筆者はよく注文した。無表情な女主人はけっして同時に料理を出さない。まず小ぶりの丼にソーイゾーを盛ってくれ、それを食べている間にバインミーチュンを調理し、レンジのなかに入れて保温しておく。筆者がソーイゾーを食べ終わると、バインミーを手渡してくれる。ベトナムのフランスパンのあられのようなパリパリ感がよく保たれていた。しめて三万ドン（当時一ドル＝二二〇〇〇ドンぐらい）であった。

手早く昼食を終えると、八分ほど歩いてヴァン・カオ通り入口から少しなかに入ったカフェ

へ。この通りの名称は、日仏共同統治からの独立を目指していた一九四〇年代前半に、現在のベトナム国歌となる「進軍歌」を作ったヴァン・カオ（一九二五〜九五）にちなんだものである。店の主人は自動車会社の研修で日本に滞在した経験を持つ。店員はバインミーの学生が主力だった。修士課程に学ぶハティン省出身の男性、会計が専門で就職活動中のティンホア省出身の女性がいつも気持ちよく迎えてくれた。彼らは仲が良く、男性が「会計が専門なのに計算を間違える」というと、女性はニコッと笑って「ひじ鉄で応戦する」というような具合であった。バインミーの注文があると、彼らが「通り」を渡って他の店から買ってくるというシステムをこの店では採っていた。麺類の注文があった場合には店の右脇の小道まで即席麺、食材を彼らが買いに出る。買い出しに出る時の彼らの背中、戻ってきた時の照れたような笑顔が今も目に浮かぶ。日によって異なるが、ヴァン・カオ通りでは昼食の時間帯に女性二人、男性二人計四人の靴磨きの人達がそれぞれ客を求めて回っていた。ある日、断り切れずにその内の一人に仕事をお願いした。まず靴の代わりとなるサンダルを下に置いてくれ、彼女は自身所有の木製の小イスに腰掛けた。やや張りを失くした大きめの黒靴を手にし、靴紐を抜く。使い古した靴。臭いもするはずなのに、顔色ひとつ変えない。黙々となめらかに作業を進める。磨き終わると水が隙間に流れこむように靴紐を元に戻す。靴はきれいに仕上がった。価格は一万ドン。職人の技であった。

（つらもと みのる／アジア経済研究所 在ホーチミン海外調査員）

※隔月で掲載いたします。